

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文字は読めるが、言葉として読むことに課題がある。 語彙力に課題があり、内容理解が難しいことが多い。 平仮名を一文字一文字書くことができるが、単語を書く時に、拗促音の場所に間違いが見られる。また、片仮名が身に付きづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中や家庭学習で音読の時間を必ず取り入れる。【表現】 様々な語彙を動作化し考えたり、繰り返し音読することで話の流れを捉えられるようにする。週1回は朝読書や図書時間の読み聞かせなど本に親しめるようにする。【対話】 単語や片仮名を書く練習を授業内や学力向上タイム、家庭学習で取り入れる。【表現】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 繰り上がり、繰り下がりのない一桁同士の計算の答えを出すことに時間がかかる。 問題文からキーワードを見付け、足し算か引き算かを判断することが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上タイムや家庭学習で計算カードに取り組む時間を設ける。【表現】 文章問題の際は、キーワードになる言葉に印を付ける活動や、イメージを図に表す活動を繰り返し行う。【表現】 	B	
生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験に差があり、積極的に活動に取り組むことのできない児童がいること。 見たこと、聞いたことなどを自分の言葉で表現することに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の自然環境を活かし、体験できる場を設定していく。児童の興味・関心、思いや願いを引き出し、学習活動を展開していく。【発見】 各活動後に振り返りカードを書くことで少しずつ自分の思いを表現できるようにしていく。また、発表タイムを設け、友達の考えから学ぶことができるようにする。【表現】 	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 聴いた曲のイメージを表現することに難しさを感じる児童が多い。 鍵盤ハーモニカを正しい指使いで正しい音を出すことに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音の強弱や速さなどの違いを、生き物の様子や体の動きで具体的に例示することによって、表現できるようにする。【表現】 基本の指の置き場所を教具を使って黒板に示し、意識しながら繰り返し練習に取り組む。【表現】 	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 糊の適量を考えて工作したり、曲線を正しいハサミの使い方ですっきり切ったりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「豆粒くらいの糊の量」「ハサミの根本を使って切る。」「紙を回して切る。」など具体的な言葉かけをする。【発見】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が積極的に取り組むが、初めて経験することに対して不安があり、諦めてしまう姿も見られる。 自分の動きに懸命になってしまい、友達の動きのよさを発見することが難しかったり、同じチームの友達を励ますなどの声掛けが少なくなったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで目標を立て、苦手な児童でも「できた」という達成感を味わうことができるようにする。【発見】 校内研究での学びを取り入れ、児童の中から手本となる動きや声掛けなどを取り上げ、互いに称賛する機会を多く設けていく。【対話】 	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の習熟に個人差がある。 誤った助詞を使ったり、助詞を抜いた文を書いたりすることがよくある。 文章を読んだ感想を書くことに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テストを授業開始5分程度で行い、習熟を図る。 正しい助詞を意識した文章を書く時間を設ける。【決定】 挿絵や写真を効果的に用いて興味・関心を高めたり、想像力の幅を広げたりできるようにする。 読書の習慣を身に付ける。 感じたことを友達と交流する機会を多く設定する。【対話】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算力に個人差がある。 単位の間違いや量感がつかめず問題を解くのに時間を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の問題に取り組む時間をとり、基礎的な計算力が身に付くようにする。 授業の始めに「100ます計算」に取り組むなどして反復練習をする。 身近にある牛乳パックやコップ、プールや教室の大きさ等の量感を把握する。【発見】 具体物を用いて実際に計測したり、物の単位を示したりすることで量感を捉えられるようにする。【表現】 	B	
生活	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことや気付いたことを表現する力に個人差がある。 地域の人々との交流を通して、自身の地域に興味をもったり、自身の地域の良さやを考えたりする活動が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶ」などの体験を通して児童一人一人の気付きを大切にする指導を行う。【発見】 自身が暮らす地域を探検し、初めて知ったことや、もっと知りたいことについて考える活動を通して、地域の理解を深められるように指導する。学んだことをタブレットで表現できるようにする。【発見・表現・対話】 	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 鍵盤ハーモニカでは、指使いに時間を要する。 曲に合った歌い方や弾き方ができる児童が多くいるが、リズムや拍に気を付けて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本の指の置き場所などを意識して、繰り返し練習に取り組む。【表現】 曲のリズム「タン（ウン）」などを目で見て分かるように掲示物で示す。 曲に合わせて体を動かしたり手拍子をしたりしながら音楽を聴いたり歌ったりする活動を積極的に取り入れる。【表現】 	A	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 適切な量で適切に糊を使うこと、角と角を合わせて紙を折ること、絵の具を使うときに適切な水の量や絵の具の量を使うことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を活用して視覚的に適切な量や方法を示す。また、図画工作だけでなく、他の強化のワークシートを貼る際にも指導を行う。【発見】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> すすんで運動に取り組む児童が多い。友達と仲良く楽しく運動に取り組む姿も見られるが、運動遊びを工夫したり、友達と協力したりしながら学習課題を解決しようとする力をより一層身に付けることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で様々な運動遊びと出会い、体育への意欲を高めることができるようにする。【発見】 運動との多様な関わり方の中で、「知る」や「する」のみならず、「見る」（友達のよい動き）「支える」（励ます声掛け）を意識した指導を行う。【対話】 学習カードを活用した振り返りを行い、次時の目標を考え目的意識をもてるようにする。【対話・発見・決定】 	A	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> • これまでに学習してきた漢字の定着に課題がある。 • 文章を書くことに課題がある。 • 考えたことを要約して話したり、聞いたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • ドリルやプリント等を活用して復習に取り組み、新出漢字を定着できるようにする。日頃のノート指導を充実させ、正しい漢字を使う機会を増やす。【表現】 • 読書や音読など文字に触れる機会を増やし、表現を豊かにする。 • 話し合い活動の中で、相手の考えに対し質問する時間を取り、話す力や聞く力を身に付けられるようにする。【対話】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> • 数量や単位の間違いが、多く見られる。 • 文章問題で質問に対する適切な答えを求めることに課題がある。 • 基本的な計算問題でつまずきが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 実物の数量を計測させたり、ICT 機器を活用したりして数的感覚を養う。【発見】 • 問われている部分に下線を引くなどして、問題文の意図を読み取れるようにする。 • ドリルやプリント等を活用して復習に取り組み、基礎的な計算力が身に付くようにする。 	B	
理科	<ul style="list-style-type: none"> • 生き物の飼育や観察にすすんで取り組む児童が多いが、関心が少ない児童もいる。 • 根拠のある予想を立てることに課題がある。 • 観察や実験の結果から分かったことをまとめる力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • ベランダや裏庭での飼育・栽培活動を充実し、身近な生き物の生態や変化に興味・関心をもてるようにする。【発見】 • これまでの生活経験と関連付けながら、問題に対する予想を立てられるようにする。 • 実験結果から何が言えるのか、考察する時間を確保し、良い考えを全体で共有する。【決定・表現】 	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> • 資料を読み取る力や、情報収集能力に課題がある。 • 学習問題に対する予想や、自力解決する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書だけでなく身近な資料も活用する。 • 資料から読み取れることを友達と共有し、新しい考え方に気付けるようにする。【発見・対話】 • 自分たちの生活経験と結び付けて予想を立てたり、解決したりするように声かけをする。【表現】 	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> • リコーダーは主に運指に気が向いて、音色やタンギングに関する意識が低い児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • リコーダーの美しい音色に親しませるとともに、音の高さに合わせて口の中の発音の工夫することによる音色の違いに気付けるようにする。【発見】 	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> • つくることを楽しみ、意欲的に取り組む児童が多いが、自分なりの表現を見付けることが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 段階見本や ICT を活用し、効果的な導入を工夫する。また様々な素材や題材を設定することで表現の幅を広げる。【表現】 • 相互鑑賞し、様々な表現があることを知り、お互いの良さを認め合えるような時間を設定する。【対話】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> • 友達と一緒に活動することが好きな子が多いが、自分の課題に気付いていない児童もいる。 • 健康面に対して興味・関心がない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 紅白帽を活用し、今日の自分の課題が達成できた児童は帽子の色を変えて、視覚的に分かるようにする。 • ペアやグループでの活動を充実し、学び合いの場を設定する。【対話・発見】 • 元気アップカード等を活用して、自分の生活を振り返る場を設定する。【発見】 	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 段落に気を付けて、作文や感想文を書ける児童もいるが、個人差が見られる。 既習漢字の定着に課題が見られる。 読み取りについては、できている児童が多いが、自分の考えや感想を表現することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を示し、文章構成や内容を確認しながら学習を進める。段落を意識できるようにする。【発見】 既習漢字の復習を行う時間を設けたり全校漢字テストに向けての学習を取り入れたりしていく。【表現】 自分の考えや感想をまとめる機会を設定するとともに、例を示すなどし、伝え合う活動を意図的に設ける。【対話・表現】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 算数の学習には意欲的だが、苦手意識をもっている児童もいる。 正確に四則計算をすることに課題がある。 自力解決の際、自分の考えをもてても伝えられない。自分の考えを教師や友達へ伝えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップを意識して個別の支援を行うなどし、より多くの成功体験ができるようにする。【発見】 計算プリントなど、反復練習の機会を設け、計算能力の向上を図る。【表現】 自分の考えや提示された解決方法を伝え合う活動を意図的に設ける。【対話・表現】 	B	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験は意欲的に行っているが、目的や観点がずれてしまうことがある。 実験結果を記録したり、その結果から考察したりすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題や活動の目的を明確に示す。【発見】 表やグラフで整理したり、図を用いたり、様々な結果の記録方法があることを示し、活動に合わせて選択できるようにする。【表現】 考察を書く際のポイントを常に確認する。【発見】 	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に対する答えを整理することに課題がある。 情報の収集、取捨選択が苦手な児童がいる。 自分の考えが強く、友達の考えを理解することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめをする際のポイントを確認したり、必要に応じて例示したりする。【発見】 課題のポイントを押さえ、そのポイントに資料や情報が合っているか確認をする時間を設け、相談や話し合いをする。【対話・決定】 グループでの話し合いを共有する時間を多くとり、対話で深い学びにしている。【対話】 	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現に必要な技能を身に付けることに時間を要する。 音楽から様々な情報を感じ取ることができるが、それを演奏に生かして表現するまで深められていない。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで課題を提示したり、友達と学び合う時間を意図的に設けたりし、楽しんで技能を習得できるようにする。【対話・決定】 共通事項を軸において、学習内容と関連させながら曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を深め、学んだことを表現に生かせるようにする。【発見・表現】 	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> つくることを楽しみ、意欲的に取り組む児童が多いが、根気強く丁寧に取り組むことが苦手な児童もいる。 お互いを思いやる余裕が無く、視野が狭くなることで、自信がなく、表現を楽しめないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業のめあて、達成目標を明確にし、自分で目標を立て、達成できたかを振り返ることで、自分の成長を実感できるようにする。【表現】 相互鑑賞し、様々な表現があることを知り、互いの良さを認め合えるような時間を設定する。【対話】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分がどのように体を動かしているのか分からず、技能の習得に差が見られる。 自分の体や健康面に対する意識が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達からのアドバイスの他にタブレットで撮影したものをみて、把握できるように関わり合いを大切にしていく。【対話】 保健の学習や「元気いっぱい南っ子カード」等を活用して、体調を整えたり衛生的に生活したりするよさに気付けるようにする。【発見・決定】 	A	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 段落や内容のまとまりを意識して文章を書くことに課題がある。 新出漢字や語彙が十分に定着していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語文や説明文を要約したり、感想を書いたりする活動を繰り返し行い、文章の書き方に慣れるようにする。【表現】 読書習慣を付けると共に、ドリルを活用して新出漢字の定着を図る。【表現】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算でのミスが目立つ。特に、割り算や小数の計算問題に間違いが多い。 文章問題の読み取りが不十分なため、桁数や単位の間違いが散見される。 	<ul style="list-style-type: none"> 割り算を中心とした計算タイムを設け、基本の計算力を付ける。【表現】 文章問題を図に表して考えたり、見積もり算や確かめ算をしたりするなどして、解き方を指導していく。【決定・表現】 	C	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験などの活動はすすんでできるが、得られた結果から考察することに課題がある。 学びを実生活に生かしていくことに結び付いていないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題を明確にして観察や実験に取り組むようにし、グループでの話し合い活動などを通して考察の時間を充実する。【対話・表現】 教科書単元末の読み物やNHK for Schoolを活用し、学習内容が実生活の中でも関係していることを紹介していく。【発見】 	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> グラフや写真から情報を読み取り、気が付いたことを書くことはできるが、既習事項とつなげて考えることに課題がある。 学習課題に対して、調べたことを適切にまとめ表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取りの際に既習事項の復習になるきっかけとなる発問をして、既習事項から更に学習を広げていけるようにする。【発見・表現】 振り返りで大事なことを落とさずにまとめる習慣を付けていく。【表現】 	B	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現をするために必要な技能が身に付いておらず、習得状況に個人差がある。 自分なりの思いや意図をもって工夫して表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで課題を提示し、自分の到達度について児童自身が分かるようにする。【発見】 友達と考えを比較・共感したり、表現を試したりする時間を設け、思いや意図をもてるようにする。【対話・表現】 	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具を適切に扱い、表したいことに合わせて工夫して表現する力に課題がある。 自分なりの楽しい表現を見付けて意欲的に取り組む児童が多いが、粘り強く丁寧に取り組むことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 道具類は繰り返し使用することで、基礎・基本の定着を図り、表したいことに合わせて材料や表現方法を選ぶことができるようにする。【決定】 授業のめあて、達成目標を明確にし、自分で目標を立て、達成できたかを振り返ることで、作品への思いを深める。【表現】 	B	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験の有無により、技能習得に個人差がある。 実習や製作を行う際に、根気よく自ら考え進めることに慣れていない。 作品作りで自分の技能を生かしたものを計画することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 手縫い、ミシン縫いなど繰り返し行う機会を計画する。家庭学習に組み込むことを増やす。【発見】 少人数グループによる学習を多くし、自ら考えたり進めたりするための方法を学び合う。【表現】 習得した技能を確かめ、作品例を提示したり互いに鑑賞したりする機会を増やす。【対話】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を捉え、友達と教え合ったり、聞き合ったりすることに課題がある。 日常的に運動に親しみ、自分の体力向上に向け、取り組むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な場で自分に合う練習方法を選択して、友達と見合いながら、運動の楽しさを味わうことができるようにする。【決定・対話】 「南スポ」や「南チャレモーニング」を活用し、楽しく運動の日常化を図り、体力の向上を目指す。【発見】 	B	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常のあいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。【表現】 インタビューやグループワーク、発表など友達やALTとの英語での交流活動を積極的に設定する。【対話】 	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和6年度 府中市立南町小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成を考えながら、目的に合った文章を書くことが苦手な児童が多い。 語彙力や表現力の向上に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を書く機会を確保するとともに、友達の文章を確認できる学習環境を作ることで、目的に合った文章作りができるようにする。【対話】 読書活動を推進することで、語彙力や豊かな表現力を身に付けることができるようにする。【表現】 	B	
算数	<ul style="list-style-type: none"> 分数のかけ算、わり算の計算、通分、約分を正確にすることが苦手な児童が多い。 問題文を読み取り、正しく立式をすることに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算を応用する「あまりのあるわり算」の計算を学力向上タイム等を活用し、年間通して取り組んでいく。また、プリント等を活用し、繰り返し取り組むことで定着を図る。【決定】 数直線を正確に活用できるようにしたり、図や絵を用いたりして立式できるようにする。【表現】 	B	
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験で分かった結果から自分の言葉で考察を書くことに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの実験に加え、ICT 機器を使って動画を視聴するなど、理解の充実を図り、考察を書く時間を十分確保する。【表現】 	B	
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を多角的な視点で読み取ることに課題がある。 学習問題を予想する活動に難しさを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 人、物、事、過去との比較の視点をもとにして、読み取り、発見を共有することで、1枚の資料から様々な発見があることを知る。【発見】 予想する手だてとして、年表を示すことで、どのような人物や出来事が、その時代に影響を与えたか予想しやすくする。【発見】 	A	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 自らの思いや意図をもって表現することに課題がある。 失敗を恐れ消極的になったり、技能を高める前に諦めてしまったり、意欲的に取り組めないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と考えを比較・共感したり、表現を試したりする時間を設け、思いや意図をもてるようにする。【対話・表現】 自分の課題に合った練習方法を選択し、表現する楽しさを味わうことができるようにする。【決定】 	B	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいことを見付け、丁寧に取り組むことができるが、自信がもてず、発表する事には苦手意識がある。 失敗を恐れる傾向にあり、新しい事にチャレンジすることが苦手。正解を求めて、既存のアイデアに頼ろうとするところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 班でのグループ鑑賞を行うことで、自分の表現を伝え、友達のよいところを見付けることで、自己の表現にも自信をもち、互いのよいところを認め合う。【対話】 様々な題材を通して、自己決定する機会を多く取り入れ、今までの学習を活かすことができるようにする。【決定】 	B	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 作業手順や必要な物の準備などで、自ら考え進めることに課題がある。 学習中に困難なことが生じたときに適切にたずねることが難しい。 作品作りで、工夫を加えたりイメージを作ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて準備・手順・段取りが確認できるようにビッグパッドに掲示したりパワーポイントを作成したり児童に合わせた活動ができるようにする。【発見・表現】 少人数グループやペア学習の機会を増やし教え合い、聞き合い、イメージ作りをする力を付ける。【対話・表現】 	B	
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分がどのように体を動かしているのか客観視できず、技能の習得に差が見られる。 自分の課題を見付けることに苦手意識をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達からのアドバイスや資料の活用の他にタブレットで撮影したのを見て、自分の動きを把握できるようにする。【発見】 授業前に今日の目標、授業後に振り返りと次回の課題を明確にする時間を設ける。【発見】 	A	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で継続して英語を使う場面が少ないため、定着に時間がかかる。 英語を話したり聞いたり、文にすることにチャレンジできないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常のあいさつだけでなく、今まで学習した内容も積極的にウォームアップ活動に取り入れる。【表現】 インタビューやグループワーク、発表など友達やALT との英語での交流活動を積極的に設定する。【対話】 	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。